



地域医療支援病院と地域包括ケアシステム

国家公務員共済組合連合会 名城病院事務部長

川上 順 裕

名城病院は平成29年4月に産科を廃止（婦人科は存続）して5階の産婦人科病棟を閉鎖し、急性期病床38床を返上しました。愛知県地域医療構想では、平成27年と平成37年の必要病床数を比較して、高度急性期と急性期及び慢性期の病床数は過剰であり今後減少しますが、回復期病床は不足している増加が見込まれると推計しています。当院では既に平成27年5月に10階療養病棟（慢性期）48床を地域包括ケア病棟（回復期）に転換しましたので、今回の急性期病床38床返上と合わせて、県の医療構想に則した動きを先取りしていると言えるかもしれません。

現在、名城病院には二つの使命があると自負しています。一つ目は平成27年10月に愛知県から承

認された「地域医療支援病院」としての役割、二つ目は地域包括ケア病棟（回復期病床）48床を有する急性期病院としての役割です。

当初、地域医療支援病院としては、①地域の先生方と連携して在宅などの患者さんが合併症を起こして症状が悪化した際の入院機関となること、②アセスメント^{※1}、レスパイト入院^{※2}を行う後方支援病院となること、③救急搬送患者さんを積極的に受け入れること、などを主な役割と考えていましたが、〈地域包括ケアシステム〉の中での当院の立ち位置を考えた場合、新たな使命も見えてきました。

それは地域包括ケア病棟48床を有する急性期病院として、高度急性期病院から急性期治療をまだ継続する患者さんを急性期病棟で

受け入れて、地域包括ケア病棟を経て慢性期病院または在宅復帰へとつなぐ、高度急性期～急性期＋回復期～慢性期というシステムの流れの中における真ん中の役割です。平成28年度から新たな役割を果たすべく、手探りで主に市中の高度急性期病院との連携を模索して参りましたが、大きなニーズがあることが判りました。

閉鎖した5階病棟は改修して、①内視鏡センター、②第二リハビリ室、③総合健診センターとして平成30年度にリニューアルオープンする予定です。地域包括ケア病棟を有する地域医療支援病院として、これからも地域医療のために貢献して参りたいと考えておりますので、今後ともご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

※1 アセスメント入院とは
在宅医療を実施するにあたり、患者の身体状態をアセスメント（評価）するために入院すること

※2 レスパイト入院とは
医療設備の整った病院が要介護者を対象に介護の負担軽減（疾病、出産、冠婚葬祭）のため、短期間入院させること

入場無料／事前申込不要 市民公開講座のお知らせ

名城病院では市民公開講座を毎月定期的に行っています。入場無料ですので、お気軽にご参加ください。

会場
名城病院
地下1階
大会議室
詳細は、ホームページ
でもご確認いただけます

12/5 火 14:00～14:45
皮膚科
「水虫について」
皮膚科医師 馬場義博

12/13 水 14:00～14:40
眼科
「目が赤くなったら…」
眼科部長 飯田 了

12/21 木 14:30～15:15
婦人科
「子宮脱について」
婦人科部長 近藤育代

循環器内科

循環器内科部長
沼口靖

「動脈硬化」を予防しよう

「動脈硬化」とは「動脈の壁が厚くなったり、硬くなったりして本来の構造が壊れ、働きが悪くなる病変」の総称です。もともと病理学で使う呼び方で病名ではありません。心臓を栄養する血管である冠動脈に動脈硬化が起これば、狭心症や心筋梗塞が発症する原因となりますし、脳動脈であれば脳梗塞に、腎臓であれば腎硬化症へとつながります。動脈硬化を予防することが大切です。

では、動脈硬化はいつ起こるのでしょうか？一般に動脈の変化は、中高年になってから起こるものだと思われがちですが、実はゼロ歳の時点ですでに主な動脈に「硬化」の初期病変がみられ、10歳前後から急に進んできます。30歳頃になると、まさに“完成”された「動脈硬化」が現れるようになります。このように生まれた時からどんどん進行してゆく血管の変化ですが、変化を起こし、動脈硬化を進める「危険因子」を避け、食事・運動な

どに気をつければ、怖い病気を予防でき、動脈硬化の進行を食い止めることもまた可能です。

動脈硬化の「危険因子」には何があるでしょうか？

その中には「男性であること」「年をとること」のように、自分ではどうにもならないものから、「高血圧」「高脂血症」「喫煙」「肥満」「糖尿病」「ストレス」などのように、自分の意志次第でコントロールできるものもあります。こうした危険因子を多く持つ人ほど、動脈硬化が加速度的に速まることがわかっています。危険因子の中でも「高血圧」「高脂血症」「喫煙」は特に重要で、3大危険因子になっています。

「高血圧」については「収縮期血圧が140mmHg以上、拡張期血圧が90mmHg以上の場合」動脈硬化が進み易くなることが判明しています。管理の目安にして下さい。

「高脂血症」については、厚生労働省の発表によると「総コレ

ステロール値は220mg/dl以上、LDL(悪玉)コレステロール値は140mg/dl以上、またHDL(善玉)コレステロール値は40mg/dl以下]になると、狭心症や心筋梗塞の合併が増えるとされています。

「喫煙」については1日20本以上の喫煙者では、虚血性心臓病の発生が50～60%も高くなります。

喫煙は、がん、肺気腫だけでなく、狭心症、心筋梗塞、脳梗塞、閉塞性動脈硬化症といった動脈硬化性疾患の発症を促す強力因子です。また喫煙で血が固まりやすくなり、血栓症を起こす危険も高まります。動脈硬化の予防・治療にまず禁煙が必要なのはいうまでもありません。喫煙者だけでなく、そばにいて、たばこの煙を吸わされる「受動喫煙者」にも健康被害を与えます。細心の注意が必要です。

動脈硬化の危険因子について、予防法の説明・禁煙指導・食事指導など名城病院では循環器内科スタッフや栄養士らが診療の中で情報を提供することが出来ます。受診時に是非ご相談ください。

病棟紹介

12階病棟師長
小林雅子

12階病棟

12階病棟は、特別室2床・個室18床を含む36床を有し、病院内で最も個室の多い病棟になります。個室にはユニットバスの付いている病床もあるため、ゆったりとした環境で治療を受けたいとご希望される患者さんにご利用いただいています。最上階の病室の窓からは、四季を感じさせる風景を楽しむことができます。

主な診療科は、小児科・小児循環器科・小児整形外科(16歳以下)の患者さんが多く入院しています。小児整形外科は、側弯症の専門的治療に特化し、全国から側弯症の治療を受けるために患者さん

が入院してきます。小児科・小児循環器科は、川崎病・肺炎・咽頭炎・喘息などの治療を受けるために地域の子供たちが入院してきます。長期に入院する患者さんもあるため、より良い入院生活が送れるように、レクリエーションでは、病棟の飾り付けを患者さんと共に行い、季節感を感じられる作品づくりをしています。

また、学童期の患者さんには、週に3回の訪問教育を行い、学習支援をしています。

また、個室には小児・成人だけでなく診療科を問わず、様々な患



者さんが入院しています。そのために、私たちは様々な疾患を持った患者さんに安全な看護が実践できるように、日々カンファレンスで情報共有したり、勉強会で学んだり、看護の質の向上に努めています。

私たちは、患者さん・ご家族の気持ちに寄り添う思いやりや優しさを大切にし、その思いに応えられるように、安心して入院生活を送れるような看護を目指します。

皮膚科

皮膚科
馬場義博

皮膚科紹介

皮膚科は、皮膚に生じる様々な皮疹を分析して、その診断・治療を行う診療科です。

当科では常勤医師1名と非常勤医師3名（火曜日、水曜日、金曜日）により診療を行います。湿疹・かぶれ、アトピー、じんましん、やけど、水虫、とびひ、にきび、いぼ、ほくろ、床ずれなど身近なものから、痒疹、紅皮症、乾癬、掌蹠膿疱症、帯状疱疹、蜂窩織炎、大疱瘡・類天疱瘡といったあまり聞き慣れない

病名の皮膚疾患までたくさんあります。また、皮膚にできる腫瘍（できものやしこり）には良性のものもあれば、悪性いわゆる皮膚癌もあり、その正確な診断は大切です。

見ただけで診断ができる場合もあれば、皮膚生検といって皮膚を一部採取して病理検査に提出して診断をつける場合もあります。

また必要に応じて血液検査、画像検査なども行います。でき

るだけ正確な診断をつけることが適切な治療につながります。

治療には、外用薬、内服薬、点滴の他に、特に皮膚腫瘍に対しては液体窒素凍結治療や手術などがあります。

一つの疾患でもその状態や程度などによって様々な治療法が考えられ、患者さんと相談しながらできるだけ副作用が少なく有効な治療を選択するよう努力しています。場合によっては入院治療をおすすめするケースもあります。皮膚に関する悩み・トラブルがあれば気軽に受診してください。

認定看護師紹介

認知症看護認定看護師

堀部泰行

認知症看護について

現在日本は、高齢化率が21.5%となり超高齢社会に入りました。2015年には65歳以上の高齢者に対して7人に1人が認知症を抱えている現状があり、2025年には5人に1人が認知症になると推測されています。高齢者は認知症以外にも様々な病気を抱えていることが多く、治療を必要とし入院をする機会が多々あります。

認知症の人にとって、住み慣れた自宅や施設の環境から、病院という慣れない生活の場に環境を変えるということはとても大きな影響を与えます。例えば、使用しているト

イレや洗面台の構造が違うことで、尿を済ました後の処理方法が分からない、手の洗い方が分からない、手を洗いたいけど洗えない、など一つのことを行うことにも苦労してしまいます。また、点滴や酸素チューブなど治療に必要な医療機器に囲まれた環境で過ごすことで、不安や恐怖心を抱えてしまいます。このように病院で治療を受けるという事は、認知症を抱える人にとって、生活を送る上での大きな影響力があるのです。

そういった認知症を抱える



人に対して、当院では医師や認定看護師を中心に多職種が連携し、認知症ケアチームを設立しました。治療に対する不安や恐怖心の軽減に努め、認知症を抱える人が安心して治療を受けられる療養環境を整えることを目標としています。認知症を抱える人が住み慣れた環境に戻ることを目指して、認知症看護に取り組んでいます。

新任紹介



整形外科
医師

田辺博宣

たなべ ひろのり

本年10月より整形外科に赴任した田辺博宣と申します。側弯症の学術的基礎や技術を学ばせて頂くため、自らの意志で横浜より参りました。皆様のお仲間に入れて頂いて嬉しく思います。

背は大きいのですが、オープンマインドであると思っていますので、気楽に話しかけて下さい。

宜しく願いいたします。

お知らせ
**救急救命士の
 病院実習に
 ご協力を
 お願いします。**



病院長
名古屋市消防局

当院において、救急救命士による、確かな知識・技術を習得、維持、向上させるための病院実習を実施しております。みなさまのご理解とご協力をお願いします。なお、実習の概要は、以下のとおりです。

- 1 実習者は、救急救命士の資格を有しています。
- 2 実習者は、事前に十分な教育訓練を受けております。
- 3 実習は、観察能力、安全・清潔管理能力、生命の危機的状況への対応能力等の向上のための見学、介助、静脈路確保、薬剤投与、気管挿管などを行います。
- 4 実習は、医師の厳重な指導と管理のもとに実施され、患者様の安全は確保されています。
- 5 実習に際して、安全な実習の遂行ができないと医師が判断した場合には、即座に当該実習を中止します。
- 6 患者様が実習を拒否しても、その後の治療及び処置に不利益が生じることが一切ありません。

私たちと一緒に働きませんか？



**常勤看護師
 募集!!**



平成 29 年度中に勤務が可能な方、ぜひ一度、病院見学にお越し下さい。
 詳しくはホームページ 又は 052-201-5311
 人事担当 鈴木まで



編集
 後記

『清風萬里秋』(せいふうばんりのあき) 秋の茶席などで見かける禅語です。上の句と合わせると『昨夜一声雁 清風萬里秋』(さくやいっせいのかり せいふうばんりのあき)となり、『昨日の夕方に空を見上げると、雁が鳴きながら渡って行った。清々しい風が吹き渡り秋の気配がする』という意味だそうです。この句には「長い修行の末に悟りを開いた。悟りを開いてみたら、今までのモヤモヤが消し飛んで清々しい気分である」という深い意味もあるそうです。悟りは開けていなくても食欲の秋、スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋など楽しいことが多い季節ですね。AK



<http://www.meijohosp.jp/>

名城病院診療等のご案内



名城病院は、病院機能評価の認定を受け、よりよい医療を提供できるよう努力しています。

診療科目

内科 (消化器内科 / 呼吸器内科 / 腎・糖尿病内科), 循環器センター (循環器内科 / 胸部心臓血管外科), 小児科 / 小児循環器科, 外科, 整形外科 (脊椎脊髄センター), 脳神経外科, 皮膚科, 泌尿器科, 婦人科, 眼科, 歯科口腔外科, 神経内科

診療受付時間

新患 午前 8:30 ~ 11:30
 再来 午前 8:00 ~ 11:30

休診日

土・日・祝日・年末年始 (12/29 ~ 1/3)

面会時間

一般 午後 0:30 ~ 8:00
 ICU (家族のみ) 午後 0:30 ~ 4:30
 午後 5:00 ~ 8:00



- ・ 時間外および休日の診療は救急外来にて受付しています。事前にお電話でご相談の上、お越しください。
- ・ 人間ドック、その他専門ドックのご相談、ご予約は総合健診センターで受付しています。



〒460-0001 名古屋市中区三の丸1丁目3番1号

052-201-5311 FAX 052-201-5318